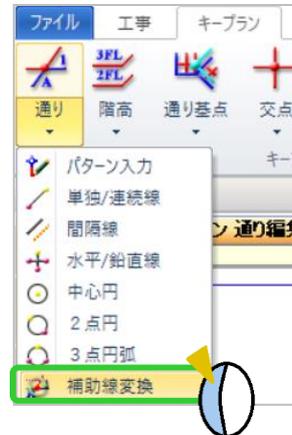
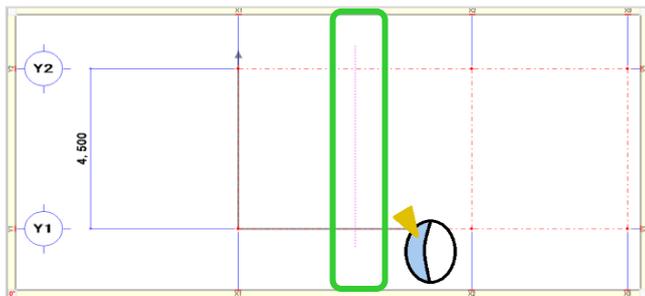


## 補助線の位置に配置した梁を軸組図で見たい! ①

### 補助線変換で補助線を通りに変換できます

【キープラン】 - 【通り】 - 【補助線変換】 をクリックします。

通りに変換したい補助線をクリックします。



【通り名称】 や【種類】 を入力シートで設定します。

また、補助線変換時の通りの視野は補助線を引いた際のクリックの順番で変わります。

【始終点関係】 では補助線変換時の通りの視野を変更できます。

通りのマーク位置で視野方向を確認し、通りを逆視野にしたい場合は

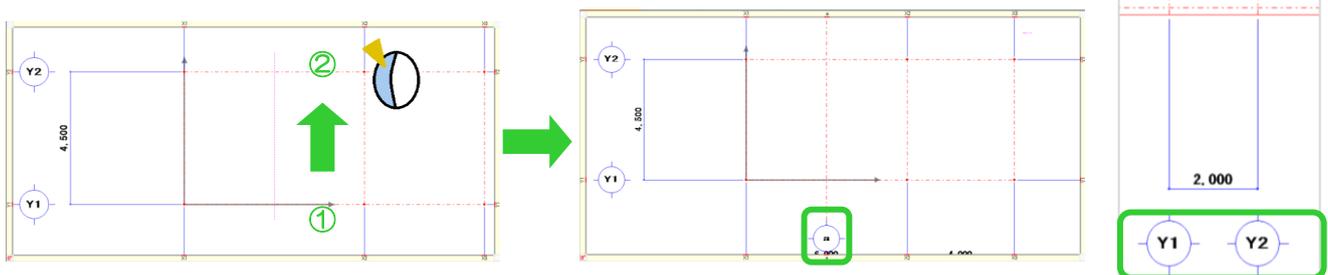
【始終点関係】 を【2 - 反転】 にします。

項目名	設定値
通り名称	a
設計番号	<無>
種類	1 - 本通り
マーク位置	1 - パラメーター
始終点関係	1 - そのまま



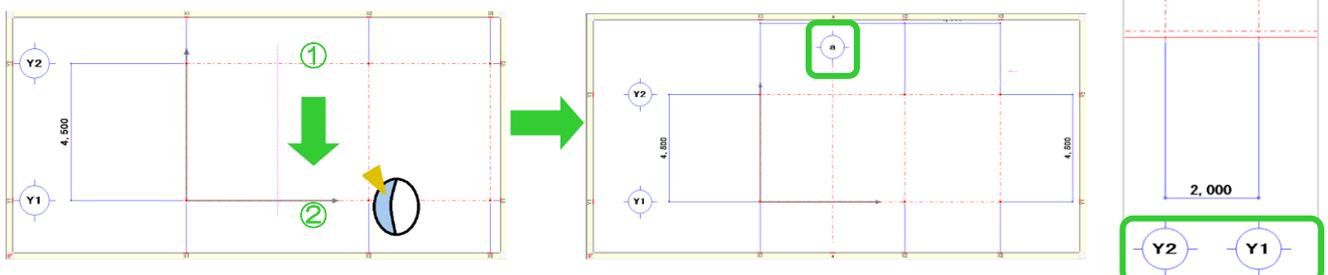
〈下から上／左から右に向かって引いた補助線を通りに変換した場合〉

- 通りのマーク：開始側に表示
- 通りの視野：通常視野



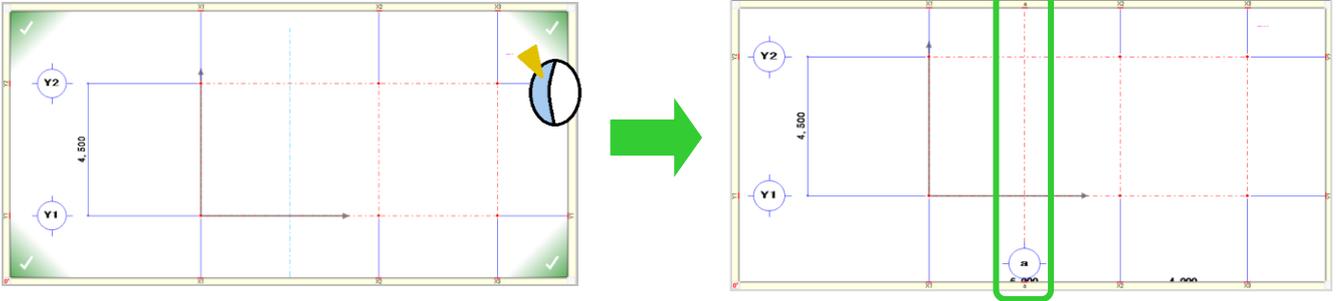
〈上から下／右から左に向かって引いた補助線を通りに変換した場合〉

- 通りのマーク：終了側に表示
- 通りの視野：逆視野



## 補助線の位置に配置した梁を軸組図で見たい! ② 補助線変換で補助線を通りに変換できます

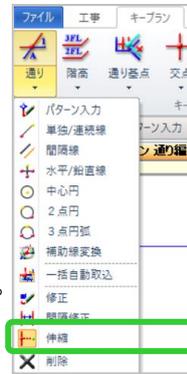
四隅の  をクリックして確定すると、補助線が通りに変換できます。



補助線を通りに変換した後に通り間のピッチを変更する場合は【通り】 - 【伸縮】 - 【自由端点】で通りを移動することができます。

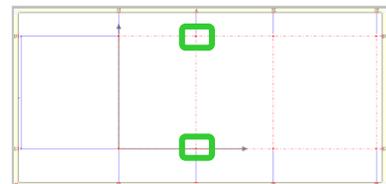
補助線変換前に補助線基準で配置した梁は、変換した通りを伸縮で移動しても付いてきません。

【梁】 - 【基準修正】で通り基準に変更してください。

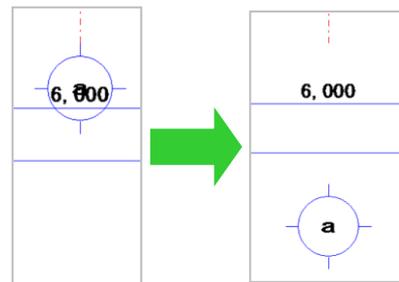
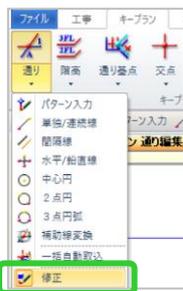


【通り】 - 【パターン入力】以外の方法で入力した通りには、キープラン交点は設定されません。

【交点】 - 【入力】で交点を作成することで柱の配置が可能になります。



補助線変換した通りのマークと寸法線が重なる場合、【通り】 - 【修正】で【マーク開始側位置】を【2-外側】に設定することで通りのマークを寸法より外側に表示でき、寸法と重ならなくなります。



【通り】 - 【補助線変換】で基準にした補助線は削除できません。